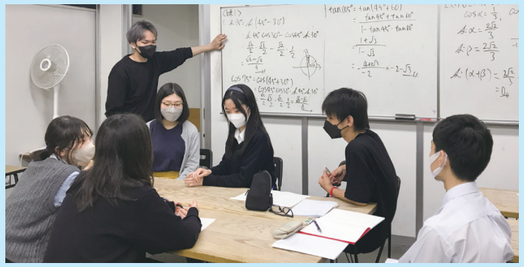
主な対象
高1・高2生

確率がおもしろくなる5日間！

「原理から学ぶ 場合の数・確率」■開講期間：8月26日(水)～30日(日) 13:00～17:00

■講師：林 晃大 ■全5回 1回の授業時間：4時間（全20時間）



受講料（20時間、テキスト・資料代込）：39,600円（税込）
内部生：33,000円（税込）

場合の数・確率の未習者を対象に、場合の数・確率全範囲を講義・演習する講座です。前半は、直感的に行っていた「ものの数え方」を、数式を用いて体系的にまとめていきます。単一のモデル（nCr）から、様々な事象の数え方を扱うことができるということを実感してもらい、確率という概念につなげてゆくことが目標です。後半は、そもそも確率とは何か、何を「1つ」として数えると正しい確率が導かれるのかのイメージをもってもらうことから始めます。その後、「確率空間の設定」・「確率空間の公理」・「何を事象とするのか」・「独立・排反」という基礎的な重要事項を講義し、確率の有名問題の演習を通して定着をはかります。最終的には統計的手法の初歩である「期待値・分散」という分野も扱います。本講座では、正しい答えを理解することよりも間違った答えに対し「何が間違っているのか」を理解してもらいます。演習ではディスカッションを通じ、一つの問題を複数の視点から眺めることで自身の誤解をどのように解くかの手がかりを得てもらうことを目指します。（春期講習で同講座を開講する予定です）

主な対象
高1・高2生

9月から「数Ⅲ・C速習」を受講希望の高2生におすすめ！

「体感する微積分」■開講期間：8月21日(金)～25日(火) 11:00～15:00

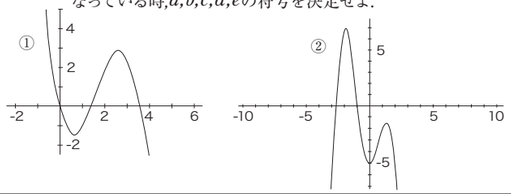
■講師：佐々木 一洋・菊竹 潤
■全5回 1回の授業時間：4時間（全20時間）
■前提となる知識：中学数学・整式・二次関数

9月から「数Ⅲ・C速習」を受講希望の高2生に最適！
「数Ⅲ・C速習」は、9～12月の4ヶ月で数Ⅲの全範囲と数C（ベクトルを除く）を導入、演習するクラス。標準的な入試問題を解けるようになるレベルの内容を扱います。

ニュートンとライプニッツ。この2人によって微積分は大きな発展を遂げてきました。本講座では、彼らの示唆や動機を知ることで、単なる計算以上に微積分の原理から理解することを目指します。記号の意味も丁寧に解説するので、数Ⅲ・Cや物理、化学など受験に直結した勉強ができます。

■第1講 極限概念の導入 ～速さとは何か～
■第2講 局所線形性
■第3講 導関数の性質とグラフ
■第4講 定積分 ～微小量とその和～
■第5講 不定積分・求積

例題 $y=f(x)=ax^4+bx^3+cx^2+dx+e$ のグラフが下図のようになっている時，a,b,c,d,e の符号を決定せよ．



受講料（20時間、テキスト・資料代込）：39,600円（税込） 内部生：33,000円（税込）

主な対象
中3～高2生

発展的な英語学習の前に、高校までの英文法の基礎を総ざらい！

「高校英文法基礎講義」■開講期間：8月15日(土)～19日(水) 13:00～17:00

■講師：林 久則 ■全5回 1回の授業時間：4時間（全20時間）

■第1講 語句節と基本五文型
■第2講 時制・相と態
■第3講 助動詞・接続詞・法
■第4講 関係詞と準動詞
■第5講 比較・否定・倒置

※各日の講義内容には若干の変更がある場合があります。

この講座では、中学英文法のまとめをしながら高校英文法の基本的な内容を網羅します。5日間で「品詞と基本五文型／語・句・節」「時制と相／受動態」「助動詞／接続詞／仮定法」「関係詞／準動詞」「比較／否定／倒置」といった内容を扱います。高校英語の発展的な学習の前段階として、短期集中的に総覧することで英文法の全体像を捉え、基礎の一層目を形成します。勘に頼った「なんとなく」の理解、あるいは細々とした豆知識的な文法観を卒業し、確固たる文法体系を築き上げる最初の一歩として、ぜひこの講座をご活用ください。

「L2」「IL2」クラスの編入に最適です。

受講料（20時間、テキスト・資料代込）：39,600円（税込） 内部生：33,000円（税込）

主な対象
高1・高2生

単語の語源を「理解」して覚える！

「語彙力集中強化」■開講期間：8月15日(土)～19日(水) 17:40～19:40

■担当講師：石本 蓮 ■全5回 1回の授業時間：2時間（全10時間）

英単語、ひとつひとつ暗記していませんか？無機質な暗記をしていても時間を浪費するだけです。この講座では、高校英文法を修得した人を対象に、単語の原理的な理解を基に、大量の語彙を有機的な繋がりに着目して暗記する術を学びます。語源や文化的・社会的背景、文法なども利用しながら、単語同士の繋がりや差異を抑えた勉強法を早期に身につけることができます。単語を覚えるのが苦手な人はぜひ受講してください。

■第1講 中核的語義の発見／本来語・借用語
■第2講 接辞と語根
■第3講 意味変化（metonymy,metaphor,synecdoche）
■第4講 多義語 ■第5講 miscellany

受講料（10時間、テキスト・資料代込）：
19,800円（税込） 内部生：16,500円（税込）

主な対象
高1～高3生

源氏物語を「言語学」と「国文学」の二つの視点から学ぶ！

「言葉の“意味”と格闘する ～英語で読む源氏物語～」

■開講期間：8月26日(水)～30日(日) 17:40～19:40

■講師：橋本 竜一郎・佐々木 拓実
■全5回 1回の授業時間：2時間（全10時間）

橋本 竜一郎 講師

佐々木 拓実 講師

受講料（10時間、テキスト・資料代込）：
19,800円（税込） 内部生：16,500円（税込）

「いづれの御時にか…」というあの有名な冒頭は、英語に翻訳するとどうなるのか―
「もののあはれ」の感覚を、英語母語話者に伝えるにはどうすればよいのか―
日本の古典の最高峰『源氏物語』。その繊細な世界観は、言語の壁を越えて世界中で読み継がれてきました。しかし、平安時代の言葉を現代語、さらには外国語へと移植するとき、そこには必ずこぼれ落ちるものがあります。翻訳というフィルターを通したとき、日本人にさえ捉えづらい「もののあはれ」はどのように変容するのでしょうか。あるいは、別の言語だからこそ照らし出される新たな側面が見つかるのでしょうか。本講座では、Arthur WaleyとEdward Seidenstickerによる英語の二大名訳を、原文および現代語訳と合わせて徹底的に比較検討します。言語学と国文学、担当講師の専門とする二つの異なる視点からアプローチすることで、単なる訳読を超えた「言葉の意味」の深淵に迫ります。以下のような方におすすめの講座です。

❶「源氏物語」が好きな方
❷ 英語／古文の力を伸ばしたい方
❸ 言葉の意味やニュアンスに興味のある方
❹ 翻訳に興味のある方／翻訳を自分でやってみたい方
❺ 言語学や国文学が気になる方

主な対象
高2・高3生

冬学期（9～12月）も無料で小論文の添削が受けられます！

※但し、講習会員は自習室会員登録の必要があります。

「推薦・医学部入試のための小論文実践講座」■開講期間：8月26日(水)～30日(日) 15:20～17:20

■講師：橋本 竜一郎 ■全5回 1回の授業時間：2時間（全10時間）

■第1講 小論文入門 ■第2講 長文要約の方法 ■第3講 生命倫理
■第4講 地域医療と医師不足 ■第5講 現代の諸問題

受講料（10時間、テキスト・資料代込）：19,800円（税込） 内部生：16,500円（税込）

小論文は、「自分の言いたいことを述べる」場です。では、なぜある事柄を（わざわざ）言いたくなるのでしょうか。それは、そうでない意見があるからです。自分と異なる意見の人が想定され、その人に向けてその人と異なる自分の主張を展開すること。これが小論文を書くということの基本です。つまり、小論文とは、「自分と異なる他者と対立する」場に他ならないのです。自分と異なる意見をもつ他者を納得させるための、最も厳密な方法が「論証」と呼ばれるものです。そして、論証の規則であり、かつ論証の技術であるところのものが、「論理」と呼ばれるものです。本講座では、他者と議論し、他者に向けて論証するための、「論理」の基礎をトレーニングします。また、テーマ別添削演習において、小論文入試頻出のテーマについて実際に小論文を書いてもらい、論理を応用し、議論と論証を実践してもらいます。

※医学部向けの講義を基本としていますが、参加者の志望・興味によって、各回のテーマを柔軟に変更します。そのため、推薦入試を志望している文系の方、志望校が定まっていない方も受講することができます。